

AI時代 チームワークで果敢に挑戦

楽しさ創造企業

DESIGN WEB MOVIE SOUND APPLI RESEARCH SYSTEM PLANNING

デザイン制作 ウェブ制作 映像制作 サウンド制作

システム開発 アプリ開発 企画提案 研究開発

日本のデジタルコンテンツの市場規模は、Webやスマートフォン等の普及に伴い拡大の一途をたどっている。(株)デジコンキューブ(本社・山形市薬師町)は、高いスキルのメンバーが集まった少数精鋭の集団でメディアを活用したコンテンツマーケティングサービスをワンストップで提供している。生成AI(人工知能)の登場・進展など激変する現状下。岩瀬義和代表取締役社長に、本県におけるデジタル化や今後の経営方針を聞いた。

(株)デジコンキューブ

〒990-0053 山形市薬師町1-1-8

☎023-627-5150

—本県のデジタル草創期から研究開発等に携わっています。

岩瀬氏 e-Japan(イージャパン)という言葉を目にしたことがあると思います。世界規模で生じている情報通信技術による産業・社会構造の変革「IT革命」に日本として取り組み、国際的に競争力ある「IT立国」の実現を目指した構想

です。四半世紀前になります。

高速インターネットの普及促進、教育機関の情報化・人材育成とともに、デジタルコンテンツの充実がプロジェクト方針に示され、山形県においては県産業支援センター内に映像アーカイブリサーチセンターが設置され、私はデジタル放送を見据えた研究フォロワーとして技術開発に取



本県のデジタル化草創期から研究開発、事業構築に携わっている岩瀬義和代表取締役社長。業務の中心をAIにシフトし企画力・提案力を高めるとともに、セミナー等で企業、自治体の生成AI活用についてアドバイスしている

り組みました。その後、「山形県デジタルコンテンツ協議会」(会長・清野伸昭山形パナソニック㈱代表取締役会長)が設立され、同協議会はデジタルコンテンツ制作活動・技術開発を通じ、新たな産業の創出と地域経済活性化をめざしています。

—総務省の地域情報化アドバイザーとして活動するとともに、2006年に㈱デジタルコンキョーブを設立しました。主な事業内容は。

岩瀬氏 企業・店舗のPR映像・テレビCM・観光資源を生かしたプロモーション映像・オリジナル音楽などの映像・サウンド制作。まちづくりやイベントでも効果のあるアプリ開発。緊急時の災害情報や誘導・病院等待合室での番号案内などのシステム開発。CI・ロゴ・シンボルマークなどデザイン制作といった自社の商品やサービス提供はもちろん、自治体のDX推進計画のコンサルティング、企業の事業イノベーションへの提案も行っています。社内においては社員の働きやすい環境を構築。時短、フルフレックス、テレワークを推進し、ワークライフバランスを確保することで、社員の自己実現に向けたリスクリング(学び直し)の応援を行うなど改革を行っています。

—「生成AI」が世界中で注目を集め、企業活動や私たちの生活に関わり始めています。

岩瀬氏 AIは70年以上にわたる開発の歴史を持ち、人間の知的活動をコンピュータで再現する技術として進化を続けてきました。ディープラーニング(深層学習)をはじめとする革新的な技術が登場し、企業活動や日常生活に広く、急速に浸透するようになり、2022年頃から急速に普及した生成AIは、画像生成や文章作成など多岐にわたる応用が期待されており、今後さらなる発展が見込まれています。

生成AIの登場は、コンテンツ制作やカスタマーサポートなど、これまでAIによって適用が難しかった分野を含め、多岐にわたる業務に革新をもたらしています。しかし、AIは外部から情報を与えられないと最適化できません。当社では業務の中心をAIにシフトし、製作・デザイン・技術・営業の枠を越えて研究開発を進め、探求力・企画力・提案力を高めることがより重要であると考えています。AIの時代だからこそ、課題や目標を見つけてAIに指示できる人間の価値が上がるのではないのでしょうか。

「自分がやる」「自分を変える」という「I W I L L」の精神で挑戦し続けていきます。